2012年「エネルギーハーベスティング」×新市場探索総調査ならびに今後5カ年の対象セグメント別の普及シナリオ予測

報道関係者各位

平成24年2月7日

株式会社クロス・マーケティング
(東証マザーズ 3629)

『2012年「エネルギーハーベスティング」×新市場探索総調査ならびに今後5カ年（2013年度～2017年度）の対象セグメント（適用分野、応用分野、用途（場所・エリア、対象分野など））別の普及シナリオ予測＞【特別企画調査】』を販売開始

～「自己発電」「自家発電」分野から「エネルギーハーベスティング」新市場探索総調査を実施。～

■■ 要約 ■■

マーケティングリサーチを行う株式会社クロス・マーケティング（代表取締役社長 五十嵐 幹 東京都中央区）は、株式会社ESP総研（代表取締役 村岡 正悦 東京都渋谷区）がまとめたレポート、『2012年「エネルギーハーベスティング」×新市場探索総調査ならびに今後5カ年（2013年度～2017年度）の対象セグメント（適用分野、応用分野、用途（場所・エリア、対象分野など））別の普及シナリオ予測＞【特別企画調査】』を販売開始しました。

詳細ページ：[http://www.cross-shop.jp/shop/goods/\\$/id/8439/](http://www.cross-shop.jp/shop/goods/$/id/8439/)

■■ 商品概要 ■■

～「自己発電」「自家発電」分野から「エネルギーハーベスティング」新市場探索総調査を実施。大分類19セグメント（小分類213セグメント）の対象セグメント（適用分野、応用分野、用途（場所・エリア、対象分野など））別×公開統計の抽出ならびに、公開統計をベースとした「Japan-VALS2」普及予測ロジックによるトップダウン式潜在市場規模＜2013年度～2017年度＞算出（楽観シナリオ／悲観シナリオ）～

1. 要約・結論 編

- 1) 「エネルギーハーベスティング」新市場探索方法（自己発電・自家発電分野からアプローチ）
- 2) 自己発電・自家発電 分野に属する「プレイヤー」抽出 調査 所感（気

づきメモ)

3) 対象分野：大分類19（小分類213）セグメントにおける「“エネルギーハーベスティング”新市場」潜在市場規模（5カ年：2013年度～2017年度）推移・普及予測（TOTAL、楽観シナリオ×2013年度 予測、楽観シナリオ× 2017年度 予測、悲観シナリオ×2013年度 予測、悲観シナリオ× 2017年度 予測）＜ハードウェア（部品）販売のケース＞

4) 「自己発電」「自家発電」シーズ（プロダクト、サービス）の適用分野マトリックス（大分類：19種類）

5) “エネルギーハーベスティング（ビジネス）”新市場探索×潜在市場規模＜普及予測＞×ハードウェア：部品販売×適用分野：大分類19（小分類213）セグメント×今後5カ年の潜在市場規模予測（2013年度～2017年度）＜数量ベース／金額ベース＞【楽観シナリオ 予測、悲観シナリオ 予測】

II. 潜在市場規模算出 編（TOTAL／大分類19セグメント＜小分類213セグメント＞ ×今後5カ年での普及予測）

1) “エネルギーハーベスティング”新市場×セグメント（大分類19セグメント／小分類213セグメント）別 潜在市場規模推移・予測（今後5カ年：2013年度～2017年度での普及予測）TOTAL

2) 対象分野：大分類19（小分類213）セグメントにおける「“エネルギーハーベスティング”新市場」潜在市場規模（5カ年：2013年度～2017年度）推移・普及予測（TOTAL）＜ハードウェア（部品）販売のケース＞

3) “エネルギーハーベスティング”ビジネス×セグメント別 潜在市場規模推移・予測（今後5カ年：2013年度～2017年度での普及予測）×最重要ターゲット（大分類19セグメント／小分類213セグメント）別＜ハードウェア（部品）販売のケース＞

【“エネルギーハーベスティング（ビジネス）”新市場探索×潜在市場規模＜普及予測＞（2013年度～2017年度）】

- (1) 防犯・セキュリティ分野 (2) 防災分野 (3) 医療・福祉分野
- (4) 宇宙分野 (5) 環境分野 (6) 公共施設分野 (7) 一般家庭分野
- (8) 企業・ビル分野 (9) 一般・企業共通分野 (10) 工業・製造業分野
- (11) 商業分野 (12) 農業・畜産業分野 (13) 通信施設分野
- (14) 電化製品分野 (15) 電子機器分野 (16) 電力・エネルギー分野
- (17) 交通・輸送機分野 (18) レジャー分野 (19) その他

III. 公開統計抽出 編（適用分野、応用分野、用途（場所・エリア、対象分野など）） ※数量ベース

- (1) 防犯・セキュリティ分野 (2) 防災分野 (3) 医療・福祉分野
- (4) 宇宙分野 (5) 環境分野 (6) 公共施設分野 (7) 一般家庭分野
- (8) 企業・ビル分野 (9) 一般・企業共通分野 (10) 工業・製造業分野

- (11) 商業分野 (12) 農業・畜産分野 (13) 通信施設分野
- (14) 電化製品分野 (15) 電子機器分野 (16) 電力・エネルギー分野
- (17) 交通・輸送機分野 (18) レジャー分野 (19) その他

IV. 基本ロジック・普及予測根拠

編（ビジネスモデル別×エネルギーハーベスティングの導入・普及単価や、将来予測に活用する基本ロジック、考え方など）

《ハードウェア販売（完成品、マイコン、チップ、モジュール、デバイスなどの部品）

※時計も含む、システム販売（ハードウェア販売+ソフトウェア販売）、企業から受託研究、受託開発、コンサルティング、その他（レンタル事業、イルミネーション事業、液体状など）》

(1) エネルギーハーベスティング×全体市場に占めるビジネスモデル別比率推移（2009年度～2013年度） ※時計を含まないモデルを指標値とした。

(2) エネルギーハーベスティング×平均実績価格 裏付け

(3)

“エネルギーハーベスティング” ビジネス×潜在市場規模算出（今後5カ年での普及予測）－「Japan-VALS2」アプローチ

(4) 「Japan-VALS2」アプローチ×大分類セグメント（19種類）別普及予測率（%）×テーブルMAP

V. 「自家発電」「自己発電」ポテンシャル・プレイヤー×マーケティング・マトリックス（75社／団体）

■■ 調査概要 ■■

【調査対象】

・ Web上にて「自己発電」「自家発電」と言及している当該事業者（当該プレイヤー）・キーマンならびに知見者、研究者など。

【調査方法】

・ 弊社専門調査員による訪問ヒアリング、電話でのヒアリング並びにメールによる追加的な情報収集、弊社内データベースの活用により調査・分析を行った（主は電話でのヒアリングであった）。

【調査&レポート期間】

・ [2011年6月29日](#)（自己発電・自家発電リスティング開始）～[2011年12月27日](#)まで深堀調査（公開統計収集を含む情報収集）を実施した。その後レポート（集計&分析）を実施し、[2012年1月7日](#)に集計&分析ならびにコメント化が終了した。

■■ 目次概要 ■■

※詳細目次はこちら

[http://www.cross-shop.jp/shop/goods/\\$/id/8439/](http://www.cross-shop.jp/shop/goods/$/id/8439/)

■■ 概要 ■■

資料名：2012年「エネルギーハーベスティング」×新市場探索総調査ならびに今後5カ年（2013年度～2017年度）の対象セグメント（適用分野、応用分野、用途（場所・エリア、対象分野など））別の普及シナリオ予測＞【特別企画調査】

発刊日：[2012年1月7日](#)

調査・発行：株式会社ESP総研

販売：株式会社クロス・マーケティング

体裁：A4/688ページ

頒価：製本+CD-ROM：997,500円（税抜950,000円+消費税47,500円）

※各別途送料500円

※オンデマンド印刷

詳細ページ：[http://www.cross-shop.jp/shop/goods/\\$/id/8439/](http://www.cross-shop.jp/shop/goods/$/id/8439/)

■■ 本件に関するお問い合わせ先 ■■

株式会社クロス・マーケティング

Cross Shop 販売窓口担当

Tel：03-3549-1319

Fax：03-5565-1555

Mail：cs-info@cross-m.co.jp

Facebook ⇒ <http://www.facebook.com/crossshop.jp>

twitter ⇒ http://twitter.com/cross_CS

Generated by ぷれりりプレスリリース

<https://www.prerele.com>